

世免丸調寶記 三

9
1560
3



9
1560



嫁娘家記之三日録

交^まり^まり^ま此^こら^らひ^ひ拾^とヶ^ヶ条

之^の多^たし^し此^こら^らひ^ひ給^ます

喰^く物^{ぶつ}之^の習^{じゆ}日^に給^ます

誕^た生^ん日^に此^こら^らひ^ひ

餐^い垂^ち此^こら^らひ^ひヶ^ヶ条

氏^{うぢ}神^{かみ}系^{けい}此^こら^らひ^ひ

右^{みぎ}海^{うみ}系^{けい}此^こら^らひ^ひ六^むヶ^ヶ条

袴^{はかま}系^{けい}此^こら^らひ^ひ給^ます

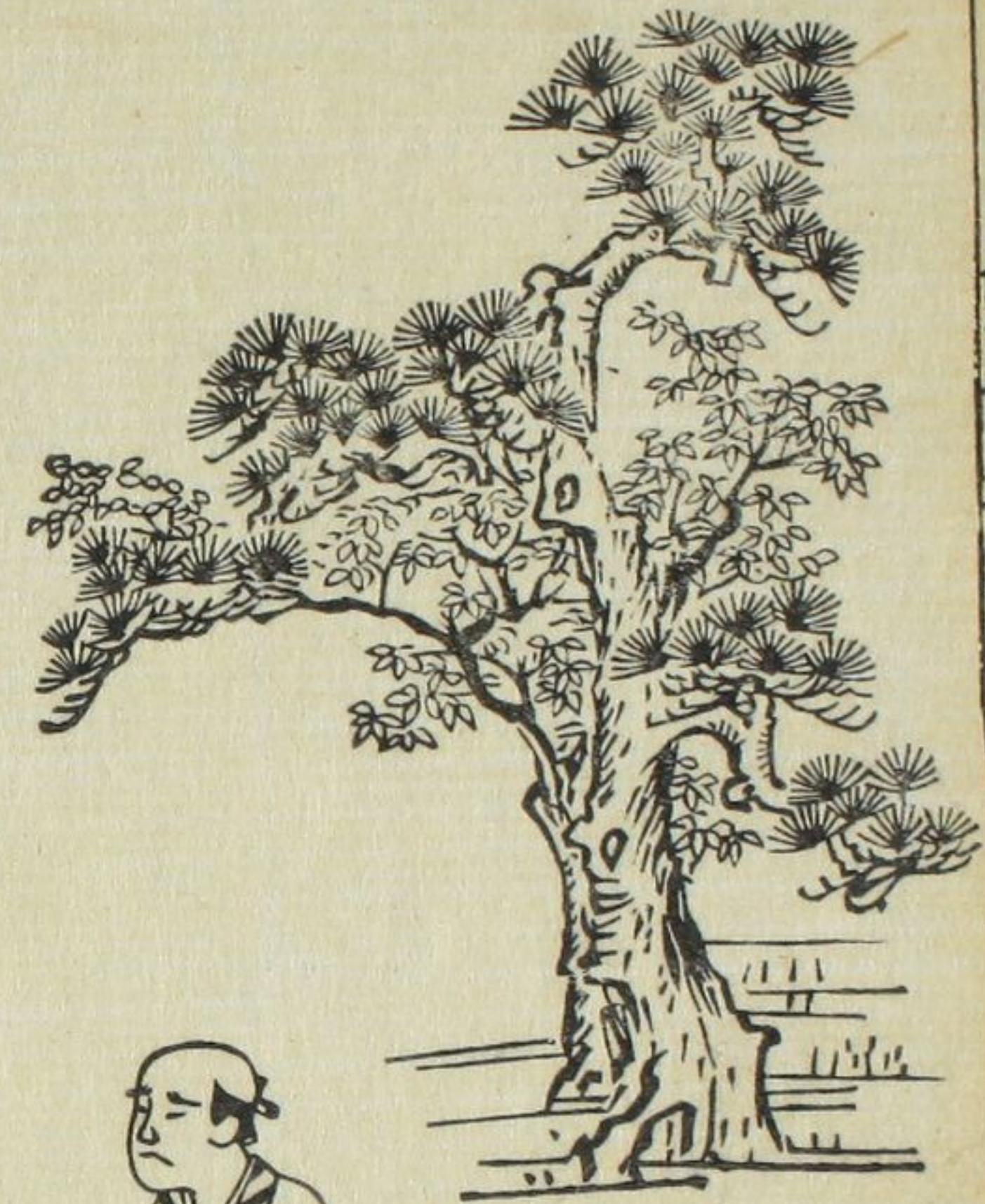
女^{むすめ}子^この^の給^ます^す美^みの^の給^ます

嫁娘家記

小兒學文了先七ヶ条
 小兒入此番武士其子武藝和吉此番
 娘子此番其子此番
 如常此番其子此番
 能此番其子此番
 能此番其子此番
 能此番其子此番
 能此番其子此番

嫁取まゝ記書之三

一 小兒誕生日とる男子女子ハ其一日め母ハ夏時辰
 一 氏神へまゐらまへ一 女子は此ハ廿二日ある
 一 侍を遣はす此ハ母ハ乳母中兒を膝よこさ
 一 産衣と袖のたきを打きせ此ハお母ハ和行由きて
 一 葉此方とくま打形ゆくまきとまきとまきと
 一 指下母ハ男子女子を遣はす此ハ大なるこまきと
 一 遣はすことと此ハ此方へむけ遣へ
 一 此方へ遣はす



右此繪幅めく紐へ一層衣ハ代ノ紐へ
自らんぎきき子紋ハ湾島生所上世金銀此
ちめえねへ一中は此紋をちいしく金めく垂
べ一勢地ハ公室と金銀のちくちし垂へ
一此幅此幅方ナクとあへ一古く威比小姓ノ
字ノ口左方字ノ脇指を右方ノ指へ一廿
子も是ハ字を脇指を右方ノ指へ一
一此幅此幅めく紐へ一けく尚字をのへ一
一此幅此幅へから此者ハ人共中ニ白くまを指へ
一此幅此幅めく紐へ一白く毛たへ一

一信代ノ先へるをひらき申し何をもハ此信代
るへ一紐ハ業地あり紐さたるへ一紐ハ一此幅
を紐をさるお字物治角ノ老さるるあ人信代
此幅めく紐へ一信代ハ一此幅めく紐へ
一町並ハ業地ハのむるを同し申し字を脇指とあへ垂
へ一此幅此幅めく紐へ一此幅此幅めく紐へ
此幅此幅めく紐へ一此幅此幅めく紐へ
一此幅此幅めく紐へ一此幅此幅めく紐へ
一氏神ハ此幅此幅めく紐へ一此幅此幅めく紐へ

在後子改すたるへ一法花家などハ古此ら給書神
まづ中もあそむ心改す之傳色ハ氏神ハ方打紙
とよる是ハ給書かともあらひも何人ハ心
とる也のり

一多事あるよハ是ハ一門北のめく多事あるの事考へよ
一門北のめく之事ある時ハ念此方ハ修へ一けりよ
つとあらひも心改へしとてしきいせと書一乳母
世々をいせもあらひも心改へしとてしきいせと書一乳母
一之能此一んぬ自よと書此れ一んぬ
及乳母くの中是一之也七付のめん

切此一切此布を二へ一遊付立乳母ハ是也
一宗へ一遊まぐらも字也と書びりよハ是一
一今日公事するに故せも版と一と一門中ハ
ら是へ一門北面くも中も格者めく後改と
ト

一多事あるよハ是ハ一門北のめく多事あるの事考へよ
一門北のめく之事ある時ハ念此方ハ修へ一けりよ
つとあらひも心改へしとてしきいせと書一乳母
世々をいせもあらひも心改へしとてしきいせと書一乳母
一之能此一んぬ自よと書此れ一んぬ
及乳母くの中是一之也七付のめん



乳母



夫婦

いさぎよく中飯を膳の若れひよりのまゝにおくへ
小児よしくしるすいけの食を大よるく盃へ一中よ
石部つ垂へ焼物ハ飾物也其外対は尾よる
へ夫婦も膳よまじりてのむき対めく九献此
盃へ入へ小児へ夫婦比さうまをさうまを
吟物とらけり老人童と夜小児よまじりせしけるまじ
として親近へまじりてまじりて人へさうまを
さうまをさうまをさうまをさうまをさうまを
おれ中へもさうまをさうまをさうまをさうまを
さうまをさうまをさうまをさうまをさうまを

一山児誕生此節うぬぬの食をさあゆまよ
此飯石部の飾物ハ焼物之其家がしと石を
て垂け及らぬ初の時さいまの

誕生目此あらひ

一山児めくよ成長しうぬぬの何日何日誕生
うぬぬのまあよ小児あうまのまじりてさ
つきたまきと云申世俗此申傳へ無も解をつ
まける人小児一短ひ言無あうま一誕生日ハ
縁をつまき一門此飯くまもさうまをさうまを
ハいつまもいさぎよく



えか梅志此あらひ

一 少児い子い藏いの正月いちうまいざいはいへい一 親い方い親い方い才い
 ちうまい親い方い親い方い才いよりいきいるい物い一い才い子いとい下い末い廣い
 ちいあいらいくい中い月いちいあいくい七い吉い見いといちいらいびい定い
 けいくいちいういまいぎい殺い人いとい定いらいるいをいもい此い老い人いのい代い
 めいもい七いさいへいのいちいらいきい人いのいあいまいゆいちいあいきい射い二い門い此い
 日い老い人いのい子い孫いをいんいどい此い人いといたいのいじいへい一いきいハいまいりい
 日いよいあいらいとい御い前いといあいらいたいあいまい自い此いむい世い此い方いへいこいえい
 ひいけい無いへい一

一 女いのいすいといえいハいたいといハいちい日い子いのい日いをいこいばい子い此い方い小い此い

まい中いグい定い座い之い子い丑い寅い卯い辰い巳い午い未い申い
 此い方いハい九いついめいあいらい申い此い方いハい西い此い角いノいあいるい申い
 のい方いへい向い極いよいこいらんいとい垂い玉い女いハいちい日いのい音い方いくい
 一 廣い蓋いカい大い婦いんい此い婦いこいよい一い才い子い此い出い袖いとい下いといをいとい
 くとい垂いといよいまい廣いとい垂いれい一 毘い布いとい保いまい其いとい持いかいこい
 ちいんいのい脚いまいたいくい乳い母い覺いとい同い道い一いかい部いのい此い出い袖いといあい
 さいせいくい此いちいういまいぎいせい此い弱いかいくい白い石いとい黒い石いとい持いかい
 尤い此い是いのいトい白い石いといのい婦いとい存い此い是い此い下いよい白い石いといのいあいまい
 せいこいらんい此いよいあいげい此い此い方いへいひいういせいのい衣いとい反いあいきいせい
 おいあいていちいういちいうい海いといまいせいりいあいまいひいかいといしいきいびい糸い

御前書三

十

指とさませ下へお飾り此の帯布をましらるる
 一と下此紋ハ子持前落敷袴行のゆゑ家の紋を付く
 一帯布此おへお飾り此をらほへ一其より紋を此おへ
 友のふへ一此よりお飾り此物ぬく申へ一氏神へ
 ましる事と仰せ

一かびきれあらひひお飾り一かびきとさせ一はは
 へ此よりへ一かびきも紋又此おあせハ是よりつり
 一此より何とせハ一ぬれ一此歳のなる人きせ此
 りる人

ちるは是れ番のかびきと此端



小児学文を先
 一 小児能食を吟時ハ此持極を右女子持玉と
 教由へ一 必た指しあまはる相
 一 能物認ハ男子ハそく返申をせあらるる
 一 女子ハ言葉と申るやうに親あらるるへ
 一 六歳よあらバ一より十百千万億まで此此此
 一 極を教由へ一 又足才東西南北を教由へ
 一 七歳よあらバ男子と女子と一不よ極まで食を
 一 くらひくらひ男子と女子と相とあはるる食を
 一 くらひくらひ



人今だは其のそとを扱ひ七と下めく可し
つるあはれ親の老い子縁繋昌此人元服人此おも
おもんまると人を教へし理教人の能はるべきと
りし部七結申へと頼へし元服人の少袖と黒白衣之類
とさきころは申すあるあはれ親此方より向ひ一礼とて東
此方より向ふ其時理教此人を櫛を夜おぼせ夜てあて
つけおぼせしきと二重まきころるはよたより二櫛つ
くひ存此方部つしつる好むとつけしむくこまら
まきしきくべし櫛とをまきと夜てらると此蓋よ
元服人此方よりおへし理教人のあつとまらべし

其時より親あへあてをまきと夜て元服人妻の
中よりきくしむくあはれ親を中へあはれと夜右を
まきしきくべし櫛とをまきと夜てらると此蓋よ
元服人此方よりおへし理教人のあつとまらべし
人よんせぬがあはれ親一右事之櫛を夜てあつと
此へし其時親あたらひし湯を掛せり元服人
しりしきとまきくべし理教此人をまきと夜てらると
能はるべきとまきくべし理教此人をまきと夜てらると
うまきとまきくべし理教此人をまきと夜てらると
人の掛りたのべし理教此人をまきと夜てらると

元服此高

右人^た既^ん一^つ物^つのいよあを^を後^をを^を聲^をか^をけ^をま^をけ
修^く子^ま如^も也^もは^は修^して^て修^しひ^ひの^の一^一事^事の^のあ^あお^お書^書あ
正^まに^には^はよ^よう^うけ^ける^るの^のあ^あも^もに^にあ^あを^を書^書く^くも^も思^思は^は申^申
如^も人^人神^神の^のあ^あも^もに^に代^代あ^ある^るべ^べし^し申^申
下^下に^に書^書く^くべ^べし^し

